

〔二〕 次の1～5の——線部にあたる漢字の総画数を算用数字で答えなさい。(10点)

- 1 願ねがいが成なジじユゆする
- 2 キきョウョウ里りに思しいをははせる
- 3 北きたキキョクョク星せいを見みる
- 4 心こころゾウゾウの音ねを聞きく
- 5 水みづジジョウョウ気きにに変かわる

〔三〕 次の1～5の——線部にあたる漢字の部首をあとのア～コの中から選び、記号で答えなさい。(10点)

- 1 温ぬるセセンンに入いる
- 2 ジジ表ひょうを提てい出しゅつする
- 3 人ひと工こうエえイい星せいを打うち上あげる
- 4 カかタた方はは外はれ
- 5 チちュウゅう誠せいをちかかう

ア	ぎ	よう	に	ん	べん
イ	から	い			
ウ	こ	ころ			
エ	の				
オ	な	か			
カ	み	ず			
キ	し	た			
ク	し	ろ			
ケ	か	た			
コ	ぎ	よう	が	ま	え

〔三〕 次の1～5の——線部のカタカナを漢字と送りがない(ひらがな)に直しなさい。(10点)

- 1 全ぜん員いんでカかナなデでルる音おん楽がく
- 2 オおサさナなイい日ひの思しい出で
- 3 不ふ足そくをオおギぎナなウう
- 4 オおゴごソそカかナな式しき
- 5 トとウうトとイい命めい

〔四〕 次の1～6の熟語と同じ構造のものをあとのア～コの中からすべて選び、記号で答えなさい。(各完全解答・12点)

- 1 養蚕
- 2 出欠
- 3 報告
- 4 無欲
- 5 朗読
- 6 骨折

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 人造 | イ | 不正 | ウ | 観劇 | エ | 必要 | オ | 非常 |
| カ | 砂場 | キ | 生死 | ク | 永久 | ケ | 円高 | コ | 存在 |

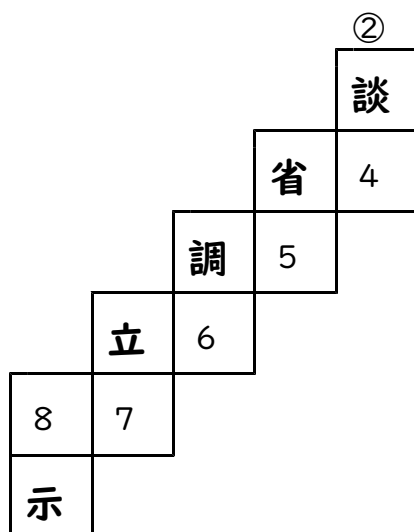
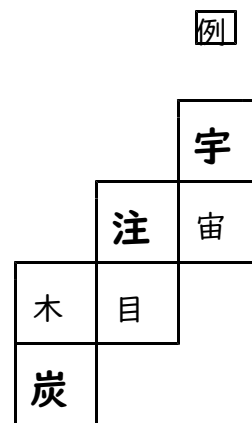
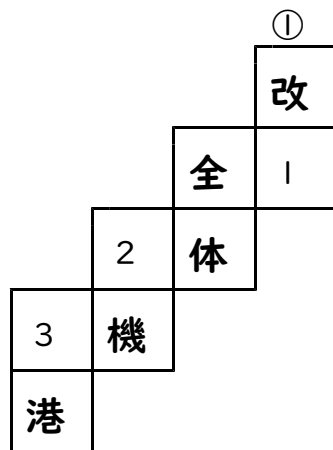
〔五〕 次の1～5の()に漢字を入れて、四字熟語を完成させ、その読みをひらがなで答えなさい。(各完全解答・10点)

- 1 一念()起
- 2 無()夢中
- 3 起死()生
- 4 ()行方正
- 5 油断()敵

〔六〕 次の1～5の()に体の部位にあたる漢字を入れ、慣用句を完成させなさい。また、その意味として適当なものをあとのア～オの中から選び、記号で答えなさい。(各完全解答・10点)

- 1 木で()をくる
- 2 生き馬の()をぬく
- 3 二の()をふむ
- 4 小()を傾^{かし}げる
- 5 ()が広い

- | | | | | | |
|---|---------------------------------|---|----------------------|---|---------------|
| ア | 不 ^{ふしん} 審・不思議に思ったりすること | イ | 交際範囲が広がって多方面に知人が多いこと | ウ | 決心がつかず、ためらうこと |
| エ | 冷たく無愛想な態度を取ること | オ | 他人を出し抜き、利益を得ること | | |



〔七〕 例のように縦の二字が熟語になり、横の漢字が同音異字になるように、1〜8に入る一字の漢字をそれぞれ答えなさい。(8点)

〔八〕 次の1～5の各問いに答えなさい。(10点)

- 1 一月七日は人日の節句といい、朝に健康をいのり七草がゆを食べるといふ風習が残っています。この七草を言い表した、次の()に入る言葉は何か。カタカナで答えなさい。「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・()・スズナ・スズシロこれぞ七草」
- 2 晴天なのに雨が降ってくる様子のことを何の嫁よめ入りと言いますか、答えなさい。
- 3 松尾芭蕉の俳句「古池や蛙かわず飛び込む水の音」に詠よまれた季節はいつか、答えなさい。
まつおばしろう
- 4 今年の五月に元号が「令和」へと変わりましたが、「令和」という言葉の出典となった、日本最古の歌集は何か、漢字で答えなさい。
- 5 二〇二〇年は二千元札の発行から二〇年となりますが、二千元札にその一部が描えがかれ、昨年残念ながら大部分が焼失した沖縄の名所はどこか、漢字で答えなさい。

〔九〕 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(70点)

「あなたが目指すのは鉄人28号^①ですか？それとも鉄腕アトム^②ですか？」

私は新入生に出会うといつもこう問いかけ、「鉄腕アトムみたいになろう」と呼びかけています。「鉄腕アトムを目指してどうということ？」「ロボットになる気なんてありません」って思った人、ごめんなさい。ロボットになれてことじゃないんです。昔々、「鉄腕アトム」と「鉄人28号」という大人気のロボットマンガがありました。もちろん少年であった私もこのマンガに夢中になっていました。どちらもとても強いヒーローロボットなのですが、大きな違いがあります。それは鉄人28号が人間の操作するリモコンで動くのに対して、鉄腕アトムは自分で考えて動き、喜んだり悲しんだりという感情も恐怖^{きょうふ}心もある人間のようなロボットだということです。「鉄人28号」はリモコンを持つ人によって正義の味方にも悪魔^まの手先にもなりません。それは自分の意志を持たず誰^{だれ}かの言うとおりに動くロボットだからです。反対に鉄腕アトムは自分で考えて行動しますから、悪魔の手先にはなりません。

小学校時代のうちに、もう鉄腕アトムレベルになったという人もいるかもしれませんね。でも「何をやるの？」「できないからやって」なんて誰かに言っただけりませんか？自分がどうしたらいいか自分で考えることをせずに、誰かの指示を待って動いてばかりいる人は、まだまだ鉄腕アトムレベルとは言えません。それから、何かいけないことをしたり失敗したりして親や先生から「どうしてこんなことしたんだ！」と叱^{しか}られたとき、「だって〇〇がやろうって言ったんだもん」なんて言い訳をしている人も鉄腕アトムのレベルとは言えません。小学生までならそれも許されるかもしれませんが、中学生になったら大人へと近づくもう一歩次の段階に入ります。(あ)自分で考えて、先を見通しながら行動する力をぜひつけていきたいものです。そういう力がつけられるような自分を目指す中学三年間にしてほしい、私はそう思っています。

中学生になったユウマ君は、授業中に立ち歩いたり大声でおしゃべりしたりして、よくいろいろな先生から注意されています。あるとき、注意した先生にこんなことを言っていました。

「人間は自由なんだからボクは何をしてもいいんだ！」

このユウマ君の言葉、あなたは どう 思いますか。彼は かれ どうしてこんなことを言ったのでしょうか。ユウマ君の ご 両親は小学校の卒業式の日、彼にこんな話をしていました。

「これからはユウマも中学生。親にいちいち聞いてばかりしないで自分で考えて行動しなくちゃね」

これまで親や先生から「○○しなさい」「○○してはいけません」と細かく言われ続けてきたユウマ君。この言葉を聞いて「これからは何でも思いのままだ」と ↑↑ コカイしたのでしょいか。理由は どう あれ、自分の「やりたい」放題がまじめに授業を聞きたいと思っている人の「やりたい」を じやま 邪魔してしまっているのです。彼の行動は学級会で問題とされ、「自由」の意味について考えるきっかけになりました。この話し合いをとおして自分のしたことの意味を理解した彼は、しっかり反省し「ごめんなさい」とみんなに謝ることができました。

こんなこともありました。カイト君は、朝出かけるときにお母さんから「今日は雨が降るから傘 かさ を持っていきなさい」と言われたので、傘を持って登校しました。でも結局雨は降りませんでした。ですからせっかく持っていた傘もそのまま持ち帰ることになってしまいました。しかも運悪く、その日は学校から帰らなければならないものが多かったので、傘はとても邪魔でした。大変な思いをしてやっと家にたどり着いたのです。そのときカイト君は、お母さんにこう思いをぶつけました。

I

「。こんな経験はありませんか。」

小さいときには親や大人がいつもそばにいて、すべきことやしてはいけないことについて指示を出し、子どもはその通りにしていればだいたいうまくいっていたし、もしそれで困ったことがあればいつも誰かが助けてくれました。うまくいかなかった不満は指示を出している人にぶつければよかったのです。誰かの指示で動いていたとき、失敗はその誰かのせいに行うことができず、(い)、自分で決めた行動の場合は誰のせいにもできません。結果はすべて自分が引き受けなければなりません。ですから「自分で決めていいよ」って言われたとき、「自由って結構大変」っていう感想を持った中学生もいます。

実は「自由」と言ってもいくつかの意味があります。一つはよりよい「今」を求める自由、自分を縛 しば っている不自由さから解放されることです。

これを「からの自由」と呼ぶことにしましょう。もう一つはよりよい「未来」に向かう自由です。自分の願いや自分で考え決めたことにシタガって歩いていく自由です。私はこれを「への自由」と呼んでいます。自由には、「からの自由(今)」と「への自由(未来)」があるのです。さっきのユウマ君の「何をしてもいいんだ!」という言葉は「からの自由」を主張したのですね。

ちよつと次のヒオリさんの作文を読んでみてください。

私の中学校は「自由」を掲げていました。それは私の誇りです。当時、近隣のほとんどの公立中学校では「紙パックジュースの持ち込み」「夏の時期のポロシャツ着用」「昼休みの体育館開放」などは認められていませんでした。しかし、これらは、私の場合は入学したときには自由でした。もちろんこれらはすべて、生徒からの要望を声としてまとめ、学校と話し合うという大変な努力を経て手に入れられてきたものです。

しかし、実現までのクナンの過程を知らない私たちは、自由をはき違えた勝手な行動をとりだしてしまい、その自由を失うかもしれないという危機を迎えました。でも、そのとき先生方がしてくださった対応は、自由の剥奪ではなく、「自由とはいったい何か」という深い問いかけでした。私たちは少なからず信頼されていたのです。

より良い学校にするには、先生と生徒の信頼関係は必要不可欠です。先生方は何事にも抑圧するのではなく、生徒自身に考える場を持たせてくれました。

「自由だから何をしてもいい」という自由のはき違えをする人がいる中でも、私たちは、無謀にも「通学服を標準服も含めて自分で決める」という新たな自由の拡大を目指しました。ここで初めて自由を手にするクナンを知ったのです。自由の中の最低限のルールを、一人ひとりが責任を持って守らなければならなかったのだと……。つまり、「自由」には「責任」が潜んでいたのです。

学校生活は、生徒が主体であり、だからこそ、指示を待つ受け身ではいけません。みんなの意思を確かめるために署名運動を行いました。

(う)そこにあらわれた生徒の思いは、やがて一つの請願書となりました。こうした緻密な一つ一つの取り組みはあらたな自由を生みだ

し、次の「自由と責任」へと引き継がれていきました。まさに、先生方との信頼関係があったからこそ、こういった環境が生まれたのかもしれない。④「自由だからこそ、人は考えることをしなくてはならない」。これは、三年間の中学校生活、生徒会活動を通して私自身が出した⑤「自由とは……」の問いの答えでした。

どうですか、自由という言葉にも結構深い意味があるでしょう。もうちょっと詳しく話しましょう。ヒオリさんたちが入学する前、その中学校の先輩たちは学校生活をもっとよくしたいと考え、それまで認められていなかった紙パックジュースを持ってきて飲むこと、夏服にポロシャツを着用すること、昼休みに体育館で遊べるようにすることなどを認めてもらおうと、生徒の声を集めて学校に働きかけて実現してきました。これらは生徒会活動として取り組まれましたが、自由を求めるだけでなく、紙パックのゴミ処理や体育館の後片付けなど「責任」の部分についてもしっかり話し合いみんなで守り合うことを決めました。ヒオリさんたちは先輩たちが挑戦した「自由拡大」の取り組みを引き継いで発展させようとしたのです。しかし、このときの生徒の中に、入学のときにはすでに与えられていた自由をⅡ放題と勘違いする人が出てきてしまいました。例えば、昼休み終了のチャイムが鳴っても体育館で遊び続けていたりしました。体育館使用の約束破りは次の授業にも差しサワリが出ました。先生たちも注意しましたし、生徒会役員会も啓発ポスターをつくって貼ったのですがそれも破られるようになってしまいました。そこで、先生たちは「体育館の使用を禁止する」と発表したのです。

違反に対する罰ではなく、「自由のために自由を制限する」という対処でした。つまり自由というのは、自分で考えて行動するアトムのような力があれば、上手に使うことで「便利」を味わえるのですが、そうでなければ自由が暴走してしまって「不便」を生み出してしまうものです。今回の場合は、状況を見て各自が考えて行動すればすむことだったのに、一部の人の勝手気ままな行動によって、「不便」が作り出されコントロール不能な状態になったため、いったん自由を制限したということだったのです。その後、生徒が自由について考え始めたことによって、再び体育館は使えるようになりました。

中学生時代は、まず「からの自由(今)」を求めて大人や社会と向き合い、次に「への自由(未来)」に向かうために自分と向き合うようになっていくのです。なんだか難しそう、自分にできるかなって不安に思った人もいるかもしれませんが、でも大丈夫です。意識するかしらないか、時期が早いか遅いか、どんなことがきっかけになるかなど、一人ひとりによって違いはあったとしても、誰でもみんな自然にそうなるって、大人も自立に向かって新しい自分をつくっていくようになるのです。

もちろん、誰でも最初から全部自分で決めて実行できるわけではありません。誰だって最初からお箸を上手に使うことができなかったように、失敗をしながら体験を重ねていけば、必ずできるようになっていきます。小学生時代はそんな身の回りのことが自分でできるようになるための挑戦と失敗、そしてできたという喜びの繰り返し、そのことを通した成長の時期であり、中学生時代は自分の意志や判断に基づいて責任ある行動ができるようになるための挑戦と失敗、できたという喜びと、自分で考え決めていくことへと向かう成長の時期です。それは、自分という一人の人間がこれから生きていく生き方の基礎となるドラマチックな時間です。もちろん、これも一人ひとり早い遅いもあれば、課題の違いはありますが、いずれにしても、「一番大切なのは「やりたい」「やるぞ！」っていう気持ちです。まずはその気持ちさえあればオッケー。それさえあればとにかく前に進めます。

(え)、それはあなたが一人だけで挑戦するのではないからです。お父さんお母さんはもちろん、おじいちゃんやおばあちゃん、親戚のおじさんやおばさん、それから先生や周りの大人たちも、みんなあなたのサポーターです。「えっ、自分の周りにはそんなわかってくれる人なんていない」っていう人、そんなことはありません。今あげた中に、相談できる人がいない場合はもっと視野を広げてごらんください。友だちや友だちのお父さんお母さん、学校の先生だって、担任の先生だけでなく保健室の先生や教科の先生まで広げていけばきっと見つかりますよ。だから安心して挑戦し、どんどん失敗したり回り道をしたりしていきましょう。自分でよく考えることなく周りから言われたことをそのとおりにやったり、逆にただ反発するだけではなく、自分でよく考えて自分の意志で行動するアトムのような人を目指してほしいと思っています。

(宮下聡『中学生になったら』)

問1 〓〓線部A～Eのカタカナを漢字に直して答えなさい。

問2 文中（あ）（え）に入る、前後をつなぐための言葉を、それぞれひらがなで答えなさい。

問3 〓線部①「鉄人28号」、②「鉄腕アトム」はそれぞれどういう人のことをたとえたものですか、文中の語を用いて二五字以内で説明しなさい。記号・句読点も文字数に含みます。なお、字数制限のある設問はすべて同様です。

問4 文中

I

 にはどのような言葉が入ると考えられますか、自分の言葉で答えなさい。

問5 〓線部③「先生方がして下さった対応」とありますが、教員の対応は具体的にどのようなものでしたか、答えなさい。

問6 〓線部④「こういった環境」とありますが、これはどのようなものですか、説明しなさい。

問7 〓線部⑤「『自由とは……』の問いの答え」とありますが、ヒオリさんが出した答えはどのようなものですか、説明しなさい。

問8 文中

II

 に入る漢字二字の言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問9 ~~~~~線部「自由には、『からの自由(今)』と『への自由(未来)』があるのです」とありますが、筆者はこの二つの関係性をどのようなものだと考えていますか。次の条件にそって説明しなさい。

条件① 100字以内で説明すること。

条件② 「挑戦」「責任」「準備」という言葉を使用すること。

条件③ 「からの自由(今)」を前者、「への自由(未来)」を後者と表現すること。

問10 次の文は、本文から抜き出したものです。この文が入る箇所かしょを見つけ、入る直後の五字を答えなさい。

その中にはきつと「やった!」って思えることがあるはずですよ。

問11 次の1〜5の文は本文の内容をまとめたものです。内容が正しければ○、間違っていれば×を書きなさい。(完全解答)

- 1 小学生の間は何をしても言い訳すれば許される。
- 2 自分で考えて行動した場合、結果の責任は自分にある。
- 3 ヒオリさんの入学時、紙パックジュースの持ち込みは禁止だった。
- 4 自由は上手に使えるかどうかで、「便利」にも「不便」にもなる。
- 5 中学生になると同時に、全員が自立への道を歩み始める。

受験番号		氏名		採点	
------	--	----	--	----	--

一	1	2	3	4	5
---	---	---	---	---	---

二	1	2	3	4	5
---	---	---	---	---	---

三	1	2	3
	4		

四	1	2	3
	4		

五	1	2	3
	4		

六	1	2	3
	4		

七	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---

八	1	2	3
	4		

受験番号		氏名	
------	--	----	--

九	問 1	A		B	(つて)	C	
		D	(り)	E	(けた)		
	問 2	あ	い	う	え		
	問 3	①	-----				
		②	-----				
	問 4						
	問 5						
	問 6						
	問 7						
	問 8						
	問 9		-----				

	問 10						
	問 11	1		2		3	
						4	
							5

受験番号		氏名		採点	
------	--	----	--	----	--

一	1	12	2	11	3	12	4	19	5	13
---	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

各2点

二	1	カ	2	イ	3	コ	4	ケ	5	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

各2点

三	1	奏でる	2	幼い		3	補う
	4	蔵かな		5	尊い		各2点

四	1	ウ	2	キ		3	ク・コ
	4	イ・オ		5	エ・カ		6

各2点

五	1	発	いちねんほつき	2	我	むがむちゆう	3	回	きしかいせい
	4	品	ひんこうほうせい		5	大		ゆだんたいてき	完全解答・各2点

六	1	鼻	エ	2	目	オ	3	足	ウ
	4	首	ア		5	顔		イ	完全解答・各2点

七	1	善	2	待	3	寄	4	笑	5	庁	6	律	7	案	8	暗
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

各1点

八	1	ホトケノザ	2	きつね		3	春
	4	万葉集		5	首里城		

受験番号		氏名	
------	--	----	--

九	10点	A	誤解	B	従 (つて)	C	苦難
		D	障 (り)	E	拳 (げた)		
8点	あ	だから	い	しかし	う	そして	え
8点	①	自分の意志を持たず、誰かの指示を待って動く					
		く人。					
8点	②	自分でよく考えて、自分の意志で行動する人					
		。					
4点	(例) お母さんのせいで大変な目にあつた。						
6点	体育館の使用を一旦制限し、生徒達が自由について考えられるようになったことを受けて、再び使用を認めてくれたというもの。						
6点	生徒達が主体的に考え、学校に働きかける中で、新たな自由を生徒たちの手で生み出していけるような環境。						
6点	自由とは何をしても良いというものではなく、自由だからこそ一人一人が考え、責任を持つことによって手に入るものだというもの。						
4点	勝手						
10点	前者を求めて大人や社会と向き合い、 「挑戦」と失敗を積み重ね、 自分の意志、判断に基づいて「責任」のある行動ができるように成長することで、 自然と後者に向かい、 自分と向き合っていく「準備」ができるという関係。						
4点	自分でよく						
④	1	×		2	○		3
					×		4
					○		5
							×